

オーバーブ新聞

第一十号

秋深むあなたは何をやるか?

台風がひとひらたつと通り過ぎるたびに少しづつ気温が下がり、気づかぬうちに秋が深まってゆきます。スキの穂やコスモスの花がひんやりとした涼風に揺れ、柿の実が夕日のようなオレンジ色に染まつてゆきます。赤や黄に色づいた葉がハラハラと散り始めると、人は皆少なからずロマンチストな気分になるのではないでしょうか。真夏の猛暑を無我夢中でやり過じてよう日に日々を送つて来た後なので、涼しい一息つき、ゆっくりじっくりひとりひとりつの風景に田を向かれると、心地よい気分になります。

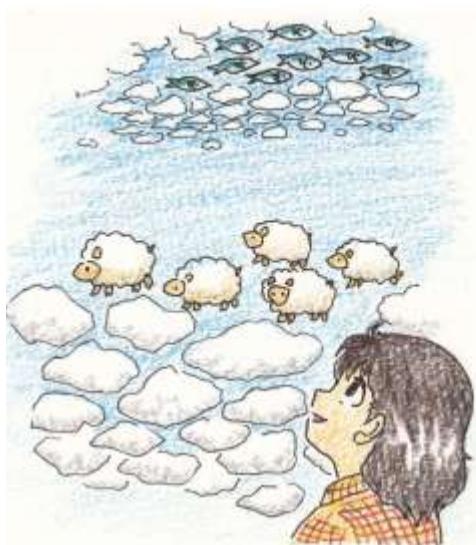
秋には様々な楽しみ方があります。秋の夜長には『読書の秋』。ドングリやクズヅルなどを利用したクリフト作りで『芸術の秋』。最近は受験の影響で春に運動会をやることが多くなりましたが、『スポーツの秋』のイメージは永遠です。そしてやつぱり外せないのは『食欲の秋』。夏は食欲がわからず、そうめんや冷たい飲み物で胃の働きが鈍くなっていますが、涼しくなると次第に食欲も戻ってきます。そんなところに新米などの農作物や、脂のつたサンマや鮭など、おいしいものがわんさか出でるので、初物食いがとても楽しみです。人は単に秋の味覚を楽しんで肥えてゆきますが、動物や鳥たちは厳しい冬を乗り越えるために、木の実や草の実をせつせと食べて栄養を蓄えています。山の栗やクルミの実などは、でもまだ動物のためにとつておいてあげるといいでしょうか。

またバラや菊などの秋の花見も楽しみです。夏の花は一日花が多く、ひとつひとつの花の寿命は非常に短いです。しかし秋の花は涼やかな気候に守られて、とても長く花を楽しむことができます。キンモクセイの花の香りやササンカの花なども、深まゆく秋を決定づけの花です。さて今年の秋は何を楽しみましょうか?

9月9日は重陽の節句。
旧暦では現在の10月にあたり
菊花の時期であることがら、
菊花の節句とも呼ばれます。

長寿を願って菊の花びらを
呑べた酒を飲むといつ
風流な習慣もあります。
匂のサンマや栗のほんと共に、
秋のタケを楽しむぞみには
いかがでしょうか。

またリュウノウヤクという野菊の
葉をあ風呂に入れた『菊湯』も
ありますか。リュウノウヤクが手に
入らなければ、同じキク科である
カモミールを入れてのんびりやったり
お湯につかごあたまりましょう。



秋は空が高く広がられ、
変化にとんだ雲も美しいです。
小さな雲が集まるうろこ雲。
見た目によく似た雲や、
さざ雲などとも呼ばれます。
これは高に所に発生する
巻積雲といつ雲です。
低めの空にうろこ雲が
大きい、底面に反色の影が
群れる。羊に見たこと
ひつじ雲と呼ばれます。
今日の雲は何に見えますか。
足を止めながら見てみませんか。

